

■北村季吟 歌人、俳人、国学者。俳諧で貞徳と芭蕉を繋ぎ、古典の解説啓蒙で国学を先駆、ついには幕府歌学方に。

きたむらきぎん

イハ^レニ断交・1624＝ 山城国栗田口の生れ。祖父宗龍は、医学を曲直瀬道三に、連歌を里村紹巴に学び、一時安芸の毛利元康に仕えたという。父宗円も医者で連歌をよくしたが、次男だったため京都に出たらしい。

徳川秀忠没・1632＝ 8歳：
鎖国令始・・・1633＝ 9歳：

祖父宗竜・父宗円が連歌をよくした影響で、早くから文事に親しみ

鎖国令Ⅴ・・・1639＝15歳：安原貞室に入門して、俳諧を習い、

家光鎖国完成1641＝17歳：

初の高札・・・1642＝18歳：この頃、松永貞徳に入門、俳諧のほか幅広い指導を受ける。

市中諸法度・1648＝24歳：処女作「山之井」を刊行。

慶安御触書・1649＝25歳：「師走の月夜」刊。

重頼と抗争中の貞室を助けて俳壇に名を挙げ、

徳川家光没・1651＝27歳：

承応事件・・・1652＝28歳：歌学者としても、「大和物語抄」刊から始め、

野郎歌舞伎始1653＝29歳：「紅梅千句」の大興行に参加、跋文も書く。貞徳没後は、

飛鳥井雅章・清水谷実業に和歌・歌学を学び、

・・・1655＝31歳：仮名草子「仮名列女伝」。「俳諧埋木」成る。歌道に明るくなると、貞室の無知がうとましく不和となり、

・・・1656＝32歳：*「俳諧合」を出して独立を宣言、俳諧宗匠となる。

明暦の大火・1657＝33歳：

人身売買禁止1658＝34歳：「藤川百首拾穂抄」成る。

・・・1660＝36歳：撰集「新続犬筑波集」成る。

清帝国始・・・1661＝37歳：「土左日記抄」「女郎花物語」「浮雲物語」「似我蜂物語」「錦木」「小倉物語」刊。

殉死の禁止・1663＝39歳：この年以前、「伊勢物語拾穂抄」成る。「増山井」成る。

酒井忠清大老1666＝42歳：

入鉄砲出女令1667＝43歳：「徒然草文段抄」「新続犬筑波集」「俳諧小相撲」刊。

ジャクシャインの乱 1669＝45歳：「百五十番俳諧発句合」成る。

・・・1671＝47歳：「和漢朗詠集註」成る。

越後屋オープン 1673＝49歳：俳論書「俳諧埋木」刊。「源氏物語湖月抄」「俳諧用意風鉢」成る。

・・・1674＝50歳：「枕草子春曙抄」成る。

談林派俳諧・1675＝51歳：「湖月抄」刊。

・・・1676＝52歳：「続連珠」刊。

・・・1677＝53歳：句合書「六百番俳諧発句合」等を続々と著し、*俳壇に不動の地位を築いた。

藤十郎登場・1678＝54歳：

越後騒動・・・1679＝55歳：北村季吟判「百番俳諧発句合」成る。

徳川綱吉將軍1680＝56歳：「伊勢物語拾穂抄」刊。

天下一禁止・1681＝57歳：「百人一首拾穂抄」成る。

好色一代男・1682＝58歳：「八代集抄」刊。

八百屋お七・1683＝59歳：京都新玉津島神社の社司となった後も、

堀田正俊暗殺1684＝60歳：「菟芸泥赴(つぎねふ)」成る。

・・・1686＝62歳：「万葉拾穂抄」成る。

生類憐令始・1687＝63歳：「万葉集秘訣」まで、数多くの古典注釈書を著すうち、

・・・1689＝65歳：「新玉津島記」成る。和歌をよくした松平直矩の推挙により、*突然、子の湖春とともに幕府歌学方に召され、江戸に下って、神田小川町に邸宅を賜って、移り住む。

湯島聖堂・・・1690＝66歳：「万葉拾穂抄」刊。

別子銅山始・1691＝67歳：法眼となる。

生類憐令頂点1695＝71歳：

萩原勘定奉行1696＝72歳：

・・・1697＝73歳：この年以前、「八代集口訣」成る。この年、子の湖春が死去したが、自らは順調に累進し、

・・・1699＝75歳：「教端抄」成る。法印となり、再昌院の院号を賜り、目白関口台に別荘を構えて、

御蔭参流行・1705＝81歳：没した。